

## 学会報告

13<sup>th</sup> AOCMP 参加報告

安達 由美子

藤田保健衛生大学大学院保健学研究科修士課程2年

このたび、日本医学物理学会の補助を受け、2013年12月12日から12月14日までシンガポールにて開催された、AOCMP (Asia-Oceania Congress of Medical Physics) & SEACOMP (South-East Asian Congress of Medical Physics) 2013に参加しました。

AOCMPの会場は、シンガポール国際空港から公共交通(MRT)で40分程度移動した、チャイナタウンにも近い、Health Promotion Boardという場所でした。私たちは前日に羽田空港から深夜便で向かったため、シンガポールに到着したのは学会当日の早朝でした。そのため、会場までの交通は便利だったにもかかわらず、到着時は疲労困憊だったことを覚えています。会場に到着すると、アジアやオセアニアのさまざまな国からの研究者が参加していました。特に、タイからの参加者が多く感じられました。当時、タイ情勢は不安定な状況でニュースでも報道されていたので、良い意味で想定外でした。口述発表のセッション会場に行くと、興味深い内容の発表に対しては積極的に多くの人が質問をしており、眠気を忘れるほどの刺激を受けました。

私の今回のミッションは2日目の Preferred Papers IIのセッションで自身の研究課題、“Development of DVH evaluation program for supporting radiation therapy planning”の口述発表を行うことです。日本国内での口述発表は何度か経験していましたが、海外学会での口述発表は今回が初めてでした。そのため、いつも以上に発表練習を行い、本番に備えました。発表内容は、治療計画装置と独立した汎用パソコン上で動作するプログラムを開発し、複数の症例を対象にしてDVHの解析と線量指標の評価を行うというものです。このプログラムを使用することで、任意別にDVHのデータベースを構築することが可能なため、放射線治療計画を支援する有用なツールとなると考えています。

そして緊張がほぐれないまま、私の発表の瞬間を迎えました。準備万端で臨んだはずなのに、発表時間が近づくとつれていつも以上に緊張してしまい、発表中も緊張のためうまく話すことができませんでした。あんなにたくさん練習したのに、うまく舌が回らず、発表中何度も詰まってしまったのです。さらに、質疑応答では座長の方から質問をいただいたのですが、緊張のため頭の中が真っ白で答えることができませんでした。今振り返ると、簡単な回答ですむ内容だっただけに、発表を終えた後は自己嫌悪と悔しさでいっぱいでした。

このように私の英語発表デビュー戦はつらい幕開けだったのですが、改めて英語を身につけることの大切さを認識しました。自分の研究をうまく伝えるためには、発表のスライドやスライドの説明だけでなく興味を持ってくださった方からの質問に答えられなければ意味がないと強く感じました。日本の学会では当たり前に行っていたことが、言葉が変わるだけでできないのは言い訳にできないと思いました。

また、他大学の医学物理士の方と一緒に学会期間中にポスター展示を見ている際に、演者の方が話しかけてくださいました。しかし私は、同行して



発表の様子



AOCMPの受付前にて集合写真  
左から林先生、筆者、修士1年の黒木くん

いた人が話しているのを聞いているだけで、自分から話しに行くことができませんでした。今思えばこのときに、私も怖がらずに話しかけていれば、興味を持ったことを自ら聞くことができたのに、と思います。私は、4月から病院で働くのですが、今後も研究は続けていきたいし、海外学会にも参加したい

と思っています。その際に、海外の放射線技師や医学物理士の方との交流を持つ機会を逃さないためにも、英語はとても重要です。私の今後の課題に、英語を聞き取り、答える力を身につけることが加わりました。

今回のAOCMPへの参加は当初、楽しい反面で英語が苦手というコンプレックスと口頭発表に対する不安から、参加したくないという気持ちもありました。しかし、参加したことによって私にとって今後活かせる経験ができたので、今では学生生活最後の学会発表がAOCMPで良かったと思っています。今回の経験を無駄にしないためにも、目の前の課題を着実にクリアして、今後の自分自身の発展につなげていきたいと思いました。(まずは修士論文を仕上げなくちゃ!!)

最後に、今回の発表や学会参加にあたりご指導を賜った、加藤先生、林先生、ならびに共同研究者の先生皆様に心より感謝いたします。そして、貴重な機会を与えてくださった医学物理学会関係各位と会員の皆様に心よりお礼申し上げます。